

別紙3－2（様式第8号添付用）

提案型協働事業報告書（活動支援交付金）

団体名	特定非営利活動法人ゆめじろう
1 該当する町の施策方針	「22のめざすべきまちの姿」 集い・憩える魅力的な場所があるまち 楽しく健康づくりができ、安心して医療を受けられるまち 「61の施策方針」 みんなで公園と緑地を充実する。 健康づくりを進める
2 解決へ向けて取組んだ地域課題	四季折々の豊かな自然を有する自然公園一帯の自然ゾーンが人の目が届きにくい為、町民（特に女性、子ども）に有効に活用されていない。 重い知的障害のある人たちの社会貢献と社会参加、仕事の創出。
3 協働対象部署	都市計画課
4 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1) (2) (3) ①パトロール活動（自然公園一帯） パトロール活動については地域住民のボランティアによるパトロール活動にまで広げることはできなかったが、重度障害者と支援スタッフによるパトロールについては雨天時、熱中症警報が出ている日を除き年間149回行うことができた。 清掃・修繕活動 ①のパトロール活動においてもゴミ拾い、コースに落ちた折れた枝の撤去等を行ったが、10月19日に実施した半田ファミリー山の会と一緒に行った清掃ウォークにおいてゴミ拾いの他、ベンチや展望台、像などの水洗いを行った。（参加者約80名） コース案内版の設置 コースの起点や分岐点にマップと照合する番号を書いた案内板を手作りで作成し設置をした。 ②マップの作成 見所や分岐ポイント、おすすめコースや距離・所要時間を記載したウォーキングマップ（カラーA3）を作成し、老人福祉センター、中央公民館、図書館、体育館など町内各所に設置した。また、イベント時やパトロール中出会う人にも手渡しで配布した。 缶バッヂの作成 イベント参加者や協力金出資者へ啓発を目的とし缶バッヂ作成しを配布した。作成数300個 ③ウォーキングイベントの開催 10月19日の清掃ウォーク（約80人）、10月26日の武豊ウォークにおいてのノルディックウォーキングミニ教室（13人）、12月6日イチョウウォーク（30人）を実施した。清掃ウォークとイチョウウォークにおいては、特設「森のカフェ」をオープンし飲み

	<p>物やワッフルの提供し、好評を得た。</p> <p>④協力金の募集について 活動資金の一部に充てるためゆめじろう会員やイベント参加者等に呼びかけ一口500円で協力金を募った。初年度目標額の10000円には達したものの、呼びかけが十分でなかった。</p> <p>(4)</p> <p>イベントのPRを広報を使って行ったものもあったが、準備が間に合わずチラシとブログのみになってしまったものも有り、十分ではなかった。</p>
5 事業実施により得られた効果	<p>少しずつではあるが、来園者が増えていることを実感する。主は中高年の健康維持増進を目的としたウォーカーであるが、時に小さな子供連れの親子も見かけるようになった。</p> <p>また、コース上に落ちた折れた枝の除去や軽微なコースの荒れを来園者が自主的に修繕している実態も見えてきた。</p> <p>久しぶりに公園を訪れた方から「よく整備されていて良い公園になった」との声も聞かれるようになった。</p>
6 次年度以降の事業展開	<p>本活動を展開するにあたり、パトロールの呼びかけやイベントの周知、地図の配布など公園を訪れる人たちへの直接的な働きかけに限界がある。また、イベント時に好評だった森のカフェは、火器仕様の関係上、開催の都度準備に苦労をしている。</p> <p>活動をわかりやすく継続的におこなっていくため、将来的には案内所機能を持った活動拠点の確保も行ってきたい。</p>
7 その他	子供や高齢者利用してもらえる公園ということを考えると、和式トイレしかない現状は課題である。

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。